

H26.5.7 市役所庁舎の建設・整備に関する調査・研究特別委員会 資料②

【耐震性能一覧】

本庁舎	耐震性能			
	X方向		Y方向	
	現況	補強後	現況	補強後
3階	D	B	D	B
2階	E	B	D	B
1階	E	B	D	B

議場棟	耐震性能			
	X方向		Y方向	
	現況	補強後	現況	補強後
2階	A	A	C	A
1階	B	B	D	B

西別館	耐震性能			
	X方向		Y方向	
	現況	補強後	現況	補強後
5階	A	A	B	B
4階	D	B	D	B
3階	D	B	D	B
2階	D	B	B	B
1階	D	B	B	B

南別館	耐震性能			
	X方向		Y方向	
	現況	補強後	現況	補強後
2階	D	B	C	B
1階	D	B	A	A

【性能ランクについて】

A	大地震動後も構造体の補修をすることなく建築物を使用する事が可能であり、人命の完全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
---	---

B	大地震動後も構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用する事が可能であり、人命の完全確保に加えて概ね機能確保が図られている。
---	---

C	大地震動により、構造体の部分的損傷は生じるが建築物全体の耐力の低下は小さく、補修により再使用が可能であり、人命の安全確保は図られている。
---	--

D	大地震動により、倒壊し、又は崩壊する危険性があるため、より詳細に再診断をし安全性を確認するか、又は耐震補強が必要である。
---	--

E	大地震動により、倒壊し、又は崩壊する危険性が高いため、早急に補強が必要である。
---	---